

# ハイサイ!

現代版組踊

## 肝高 の 阿麻和利

### バックステージツアー

昨年夏、文京シビックホールで上演された  
沖縄うるま市の感動舞台「現代版組踊 肝高の阿麻和利」の  
子ども達が再び文京区へ!

2024年 11月 17日(日)

開場10:30 開演11:00(90分)

文京シビックホール 小ホール

「文京区×うるま市友好都市協定締結」記念イベント

主催:うるま市・文京区

【お問合せ】 一般社団法人TAO Factory MAIL:info@tao-factory.com



申込サイト



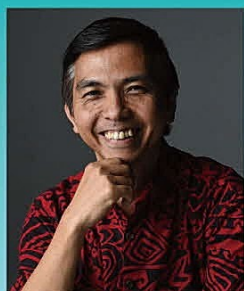
# なぜ? 子ども達だけの舞台が24年続くのか? 20万人が感動したのか?

演じるのは全て地元の中高生。“一生懸命はカッコイイ”を合言葉に舞台に向き合う  
メンバーの裏側を深掘り!舞台に立つ彼らのひたむきな思いを体感してください



## プログラム

- 初代演出家「平田大一」氏による基調講演
- 「肝高の阿麻和利」誕生秘話
- 舞台のご紹介(各パート)
- ショートバージョン披露



関連動画ご紹介



## 現代版組踊 肝高の阿麻和利

沖縄県うるま地域の中高生が演じる沖縄版ミュージカル。

沖縄に古くから伝わる伝統芸能「組踊」をベースに、現代音楽とダンスを取り入れ、地域の歴史上の英雄・阿麻和利の半生を描く。2000年の初演以来、沖縄県内外、海外での公演を重ね、公演数300回以上、総入場者数20万人超を記録。子供たち  
に情熱と誇りを与え、地域を変えた奇跡の舞台。今やその試みは沖縄の他地域をはじめ、県外にも広がっています。

## 現代版組踊「肝高の阿麻和利」について

1999年、当時の勝連町教育委員会が、子ども達の感動体験と居場所づくり、ふるさと再発見・子どもと大人が参画する  
地域おこしを目的に企画したのが始まりです。そこで注目したのが沖縄の正史で反逆者として伝えられていた  
第10代勝連城主「阿麻和利」。しかしその真実の姿を多くの資料を元に追い求め、郷土が誇る英雄として蘇らせた舞台が  
現代版組踊「肝高の阿麻和利」。演じるのは、うるま地域の中高生たち総勢約160名。